

# FUKUSHIMA NEXT

人から始まる、新しい福島。

私たちは過去と未来の接点に生きている。

福島県双葉町の「東日本大震災・原子力災害伝承館」。

福島が経験した震災、津波、原子力災害という未曾有の複合災害を伝えるための施設。

昨年4月からスタッフとして加わった、いわき市出身の遠藤さんと、南相馬市出身の渡邊さん。

「福島を、その被災の経験を、自分自身で語り継いでいきたい」が就職の動機。

「震災を決して風化させてはならない」というお二人ですが、これからの福島への強い思いがあります。

「震災はとても辛い出来事でしたが、福島を考えるきっかけになりました」

「福島には温かい心、乗り越える力があります」

「復興はいまだ半ば。その変化の中で未来を共にできることは幸せ」

「福島といえば、今もなお『地震のあったところ』。そうじゃない福島を見せたい」

そんなお二人の言葉の中には、新しい福島への歩みを進める強い意志がありました。

福島、その先の環境へ。

震災から10年。

福島の復興に向け、環境省は引き続き環境再生に取り組むとともに、除去土壌等の県外最終処分の実現に向け、減容・再生利用の必要性・安全性等に関する全国での理解醸成活動を強化します。

同時に、復興に向けた未来志向の環境施策を福島県と連携して取り組んでいます。

東日本大震災・原子力災害のあった福島で「その先の環境」を目指す思いと行動、

“FUKUSHIMA NEXT”はもう始まっています。

環境省では、“FUKUSHIMA NEXT”広告や活動を通じて、

福島の未来に向けてチャレンジしている方を応援してまいります。

福島、その先の環境へ。



環境省



“FUKUSHIMA NEXT”に登場していただける方を募集いたします。

詳細はこちらから <http://shiteihaiki.env.go.jp/fukushimamirai/sonosaki/>